



日本では、もうすぐゴールデンウィークを迎えます。「何をしようか」「どこに行こうか」とワクワクしながら過ごしている人も多いのではないのでしょうか。

オーストラリアの子どもにとって、特に大事な祝日の一つはイースターです。イースターは元々、イエスの復活を祝うキリスト教の大事な祝賀ですが、いろいろな俗信や風習と混ざって、今はなぜかイースターバニーという架空の人物が、子どものためにチョコレートのイースターエッグを庭などに隠し、子どもに見つけてもらうという習慣があります。これを「イースターエッグハント」と呼びますが、準備が大変なため、実際に経験できる子どもはそんなにいません。

今回は、私のイースターエッグハントの思い出を書きたいと思います。



今日から使える

ひとつこと英会話

Lesson8

感謝しているときに一言

"Thanks heaps!"

読み方 「サンクス ヒープス」

意味 「ありがとう!」

「Thanks」は分かると思いますが「heaps」は知らない人も多いのではないのでしょうか。

「どっさり」が本来の意味で、オーストラリアでは「すごく・たくさん・めっちゃ」のように使います。



▲ 3月20日に金毘羅山周りでフォトウォークを催しました。参加してくれた皆さん、Thanks heaps!

イースター

トニーおじさん

子どものころ、隣の家に年配のドイツ人が一人で住んでいました。ふさふさした白髪交じりの頭にふさふさした白髪交じりのひげ、少し太めな体型で、いつも紺色のつなぎ服を着ていました。唯一の相棒は「タッフィー」という元気なポメラニアン。なぜタッフィーという名前なのか聞いてみると「タフだから」と、どら声で話していました。

私は「トニーおじさん」と呼んでいましたが、親戚ではなかったし、そもそも隣人だったと言っても、つながりはただタッフィーがたまに家の庭に入って一緒に遊んでくれたぐらいでした。しかし、あるイースターの日、トニーおじさんが、私と兄弟の思い出の中に永遠に残ることになるもう一つのつながりが生まれました。

ザ・イースターエッグハント

あるイースターの朝、お父さんが「トニーおじさんがプレゼントをくれたよ」と私と兄弟を庭に呼びました。庭はあのときも今も、手入れしていないと思われるほど、バラやトマト、シダ、ラベンダー、カエデの木などいろいろな植物がめちゃくちゃに植えられていました。だからお父さんが庭を見てと言っても、まだ眠たかった私たちは、何を見て欲しかったのかがすぐ

には分かりませんでした。

しかし次の瞬間、お父さんの革靴の中に植えられた盆栽の横に、キラキラしているラップに包まれたエッグが私の目に入ってきました。トニーおじさんがイースターエッグハントを準備してくれていたのです! 赤と青、金と銀のキラキラしている紙に包まれたイースターエッグが、ラベンダーの根元や木の枝の間、フロントゲートの外など、見つけにくい所にたくさん隠してありました。



私と兄弟は、お互いに競争して庭のあちこちを走り回ってイースターエッグを見つけようとしていました。後で全部集めてみたら、何カ月間も食べ続けることができる量だと気がきました。

今考えてみると、他人の子どものためにあそこまでのサプライズを用意してくれる人はそんなにいないと思います。イースターは西洋でさまざまな理由で大事な祝日です。しかし、イースターになると、私の頭に浮かぶのは、あのときのトニーおじさんが用意してくれた、最高のイースターエッグハントです。

※写真出典: [https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/ea/Easter_Egg_Hunt_\(5623253840\).jpg](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/ea/Easter_Egg_Hunt_(5623253840).jpg)